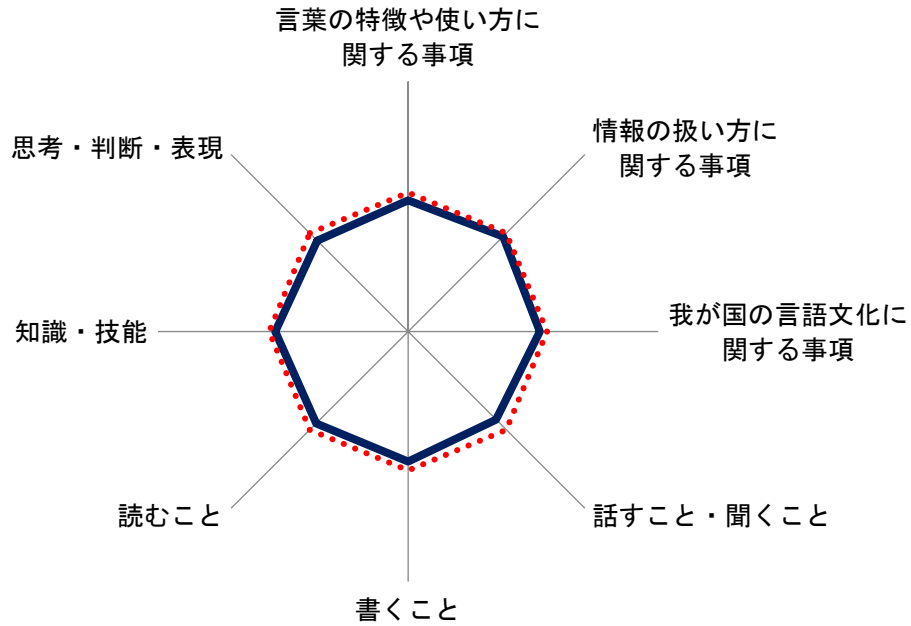


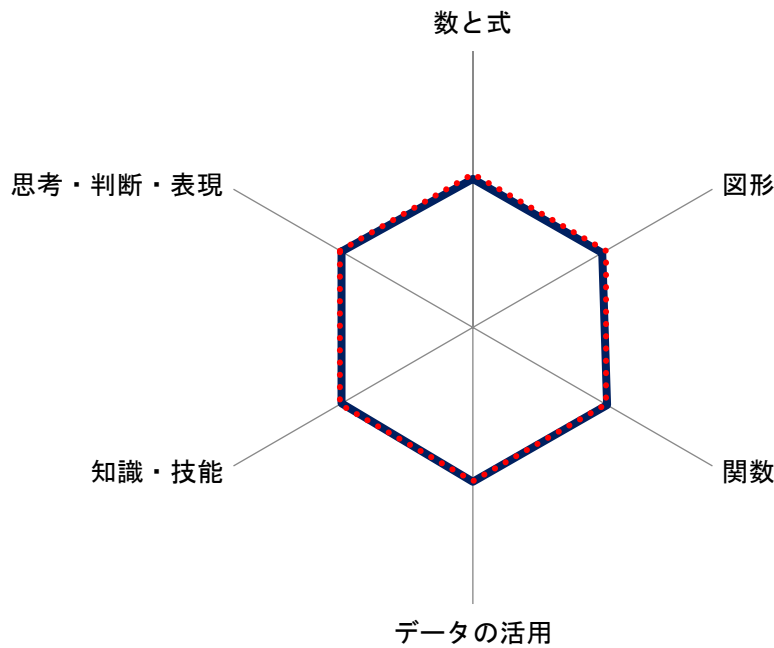
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

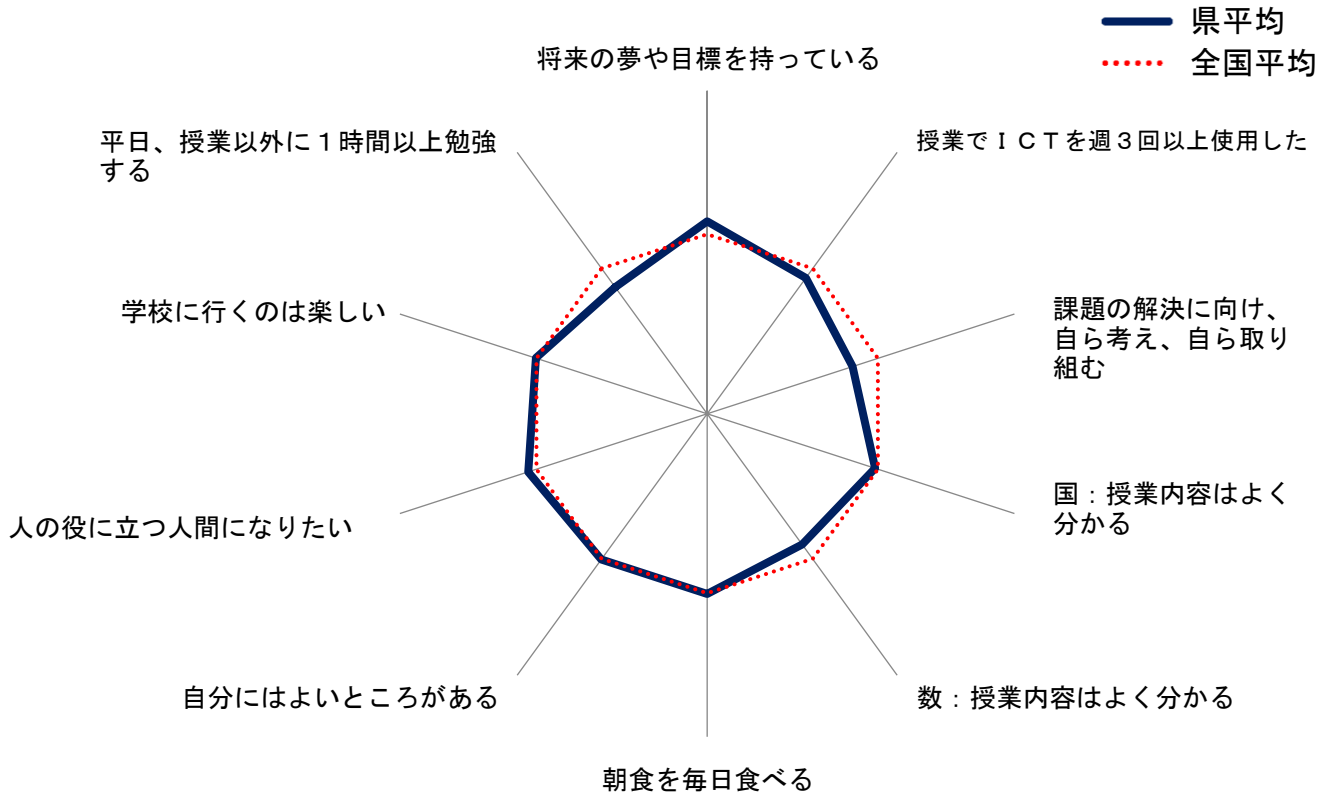
— 県平均
..... 全国平均



【数学】



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学のほとんどの項目が全国平均を下回っており、特に、国語の「話すこと・聞くこと」の項目は、他の項目と比べて全国平均との差が大きい。「知識・技能」「思考・判断・表現」の項目も全国平均を下回っており、基礎的な知識及び技能の確実な定着とその活用や読解力に課題が見られる。今後は、資質・能力の育成に資する授業改善に視点を当て、話や文章を正確に理解する力や、自分の考えをまとめたり、深めたりする力が身に付くよう、言語活動の充実を図る授業改善を推進していく必要がある。

生徒質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」「自分にはよいところがある」の項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、継続してキャリア教育の充実注力してきた成果であると考えられる。一方、「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目は全国平均を大きく下回っており、課題である。今後は、全国平均を下回った要因を詳細に分析し、基本的な学習習慣の確立に向け、学校、家庭が連携した取組やICTを効果的に活用した課題の提示等、家庭学習の習慣化を、県・市町・学校が一体となって取り組んでいく必要がある。